

1 題材名 こだわりの箸

2 題材の目標及び指導計画 (14時間扱い)

題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 箸の歴史や文化, 日本やアジア諸国の様々な箸に関心をもち, 主体的に構想を練ったり計画を基に表現したり, よさや美しさなどを感じ取ったりしようとする。 (美術への関心・意欲・態度) ○ 箸の機能や美しさを考慮し, 自分のイメージに合った表現を構想することができる。 (発想や構想の能力) ○ 材料や用具などの特性を理解し, 自分のイメージに合った表現を創意工夫して表すことができる。 (創造的な技能) ○ 自他の作品のよさやこだわりなどを感じ取り, 自分の価値意識をもって味わうことができる。 (鑑賞の能力) 		
準備・資料	〈教師〉 プロジェクター, パソコン, パワーポイント資料, 参考作品, ワークシート, 箸材 (桜・檜・黒檀・紫檀・槐・桑), のこぎり, 小刀, 彫刻刀, 木工やすり, 紙やすり, 木製食器用天然ニス, ペーパータオル, 軍手, 小豆 〈生徒〉 筆記用具, 絵の具セット		
指導計画	第1次 箸と箸材について学習する。 2時間 第1時 箸の歴史や文化について学習し, 日本やアジア諸国の様々な箸を鑑賞する。 第2時 箸材について学習し, 様々な箸材の削り体験をする。 第2次 箸の制作をする。 10時間 第1時 アイデアスケッチ, デザインの下描き 第2～7時 削り 第8～9時 やすりがけ 第10時 表面処理 第3次 作品鑑賞会を行う。 2時間 第1時 作品鑑賞会と作品投票会 第2時 ゲームとまとめ		
	時	学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価 (◎は評価)
導入	1	1 本題材の学習課題を把握する。 ・箸の歴史や文化について知る。 ・日本やアジア諸国の様々な箸を鑑賞する。 ・用と美について知る。 ・学んだことをワークシートに記入する。	・ワークシートはパワーポイント資料の説明に沿って記入できるように配慮する。また, クイズ形式の説明や記入の仕方を工夫し, 生徒の興味・関心を喚起できるようにする。 ◎箸について関心をもち, 日本やアジア諸国の様々な箸を鑑賞する中で, そのよさや美しさなどについて自分の価値意識をもって味わっている。 【鑑賞の能力】 (ワークシート, 観察)
	2	2 箸材となる様々な木の特性について知る。 ・小刀の安全な使い方を理解する。 ・様々な箸材の削り体験をし, 各自箸材の選択をする。 ・学んだことや気付いたこと, 箸材の選択理由などをワークシートに記入する。	・パワーポイント資料には, 生活の中の身近な木製製品や木製作品などの例を取り入れ, 生徒の興味・関心を喚起できるように配慮する。 ・小刀を正しく安全に使用しているかまめに確認し, けがのないよう呼び掛ける。 ・種類によって異なる木の特性を実体験によって理解させ, 生徒自身に箸材の選択をさせることによって, 作品に責任と愛着をもたせるようにする。 ◎箸材となる様々な木の特性などについて理解し, 自分の表現意図や価値意識をもって主体的に箸材の選択をしようとしている。 【美術への関・意・態】 (ワークシート, 観察, 対話)
展開	1	3 アイデアスケッチをする。 ・箸の「こだわり」についてワークシートに記入する。 ・箸材 (細長い角棒) にデザインを下描きする。	・選択した箸材の特性や用と美の関係などについて振り返らせたり, 箸の長さを決定する際のポイント (一咫半) を伝えたりし, アイデアスケッチをする際のヒントとする。 ・ペンの種類によっては箸材に染みこむので, 鉛筆で描くよう助言する。 ・削り作業を考慮し, 木目の向きに注意して描くよう助言する。

展 開	2 ～ 7	4 箸材を小刀で削る。 ・必要に応じて、のこぎりで箸材の余分な長さを切る。 ・小刀で削る。 ・小刀や彫刻刀で装飾をする。 ・学んだことや気付いたことをワークシートに記入する。	◎箸の機能や美しさを考慮し、「こだわり」をもって自分のイメージに合った表現を構想している。 【発想や構想の能力】（アイデアスケッチ、ワークシート） ・表現の構想を練ることができない生徒には、参考作品や友人の様子を参考にしよう助言する。 ・小刀の使い方については全体で確認をし、正しい使い方ができない生徒には個別に指導する。 ・使用する小刀は毎回同じものとし、用具にも愛着をもつことができるようにする。 ・順目に沿って削るよう指示する。 ・細かい装飾を施そうとしている生徒には彫刻刀を与える。 ・削りくずがたくさん出るので清掃を徹底させる。 ◎箸材や用具などの特性を理解し、自分のイメージに合った表現を創意工夫して表している。 【創造的な技能】（作品、観察、ワークシート） ・自分のイメージに合った表現ができない生徒には、アイデアスケッチを確認させたり、構想を修正させたりしながら具体的な方策を提示する。
	8 ～ 9	5 木工やすりや紙やすりで、箸の表面を磨く。 ・形を整えながらやすりで磨く。 ・学んだことや気付いたことをワークシートに記入する。	・紙やすりは80番、320番、800番を準備し、適宜使い分けるよう助言する。 ・必要によって、当て木をしてやすりがけをするよう呼び掛ける。 ・手触りはもちろん、口の中に入れたときの感触についても配慮させる。 ◎箸材や用具などの特性を理解し、自分のイメージに合った表現になるようやすりで仕上げています。 【創造的な技能】（作品、観察、ワークシート）
	10	6 表面処理 ・箸に木製食器用天然ニス塗布し仕上げる。 ・学んだことや気付いたことをワークシートに記入する。	・やすりがけによって細かい木の粉が付着しているので、ニスを塗布する前に箸の表面をきれいに拭くよう指示する。 ・ニスの量が多いとべたついてしまうので、ペーパータオルに少量のニスを含ませ、箸の表面にすり込むようにして塗布するよう指示する。べたついてしまった場合は、水を含ませたペーパータオルで拭き取るよう助言する。 ◎箸材や用具などの特性を理解し、完成に向けて意欲的に取り組もうとしている。 【美術への関・意・態】（作品、観察、ワークシート）
ま と め	1	7 作品鑑賞会をする。 ・自分の作品の「こだわり」やアピールポイントなどをワークシートに記入する。 ・作品とワークシートと一緒に展示し、鑑賞する。 ・作品投票会をする。 ・全ての作品の中から、「私が選ぶBest3」の作品を選ぶ。 ・ワークシートに添付されている投票用紙に、選んだ理由も記入して投票する。	・見るだけでなく、触ったり使い心地も確認したりするよう助言する。 ・気になる作品があれば、制作者に質問をするよう呼び掛ける。また、そうした雰囲気作りを配慮する。 ◎自他の作品のよさやこだわりなどを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。 【鑑賞】（ワークシート、投票用紙、観察） ・選んだ理由も記入することによって、自分の価値意識をもって味わうことができるようにする。 ・理由を記入できない生徒には、形や表現方法の工夫などの視点を与え、対話をしながらよさや美しさを感じ取ることができるようにする。
	2	8 まとめ ・小豆つまみゲームを行う。 ・投票会とゲームの結果発表と表彰を行う。 ・箸を長く使うための心得や箸使いのマナーについて知る。 ・題材で学んだことをワークシートに記入する。	・箸の使い心地を確かめながらゲームを行うことができるよう助言する。 ・投票理由についても発表し、自他の様々な感じ方を知ることによって、多様な価値に気付くことができるようにする。 ・箸のメンテナンスやマナーなどを知ることによって、作品を大切に、愛着をもつことができるようにする。 ◎ゲームや鑑賞を通して、自他の作品に親しみ、愛着をもつとともに、よさや美しさを感じ取ろうとしている。 【美術への関・意・態】（ワークシート、観察）